



平成 27 年 7 月 8 日  
海上保安庁

## 「海洋環境保全推進月間」で海をきれいにする活動を実施

海上保安庁では、6月1日（月）から30日（火）までの1か月間を「海洋環境保全推進月間」とし、「未来に残そう青い海」をスローガンに、関係機関、地域の皆様そして海上保安協力員等のボランティアとの連携協力のもと、海洋環境保全に関する様々な活動を全国で実施しました。

【海上保安協力員とは？】海浜の防犯パトロールを行う等海上防犯意識の高揚、海浜清掃や海洋環境保全教室を行う等海洋環境保全思想の普及啓発を図ることを目的に、公益財団法人海上保安協会から指名・委嘱を受けて活動する民間ボランティアです。

富山県高岡市内で行われた漂着ごみ分類調査での1コマ、大きな声で「未来に残そう青い海！」



本月間では「人為的要因による油類の排出、廃棄物の投棄による海洋汚染の防止」を重点項目と定め、漁業や海運業に従事する海事関係者やマリンレジャー愛好者等を対象とした「海洋環境保全講習会」、「訪船指導」、「訪船指導」や一般市民を対象とした「海洋環境保全教室」など、海洋環境保全指導・啓発活動を重点的に実施し、海上環境関係法令の遵守と油や廃棄物の不法投棄防止を広く訴えました。

	平成27年度の実施結果	(参考)平成26年度の実施結果
海洋環境保全講習会	38回(参加人数:1,574名)	48回(参加人数:1,765名)
訪船指導	1,802隻	1,738隻
訪問指導	902ヶ所	624ヶ所
海洋環境保全教室	140回(参加人数:9,390名)	122回(参加人数:8,593名)
漂着ごみ分類調査	33回(参加人数:5,551名)	30回(参加人数:3,877名)



## 期間中の主な活動事例

### ○教職員に対する海洋環境保全啓発活動（第一管区海上保安本部）

海洋環境保全教室などの機会を捉えて海上保安官、海上保安協力員等のボランティアが協力し、将来を担う子供達を対象に海洋環境保全啓発活動を実施していますが、さらに広く児童、生徒に対し海洋環境保全思想の普及啓発を図るため、学校の教職員に対し、啓発活動への協力を依頼しました。



### ○海洋環境保全講習会（第十管区 喜入海上保安署）

喜入海上保安署管内の漁業協同組合通常総会において、組合員等に対し海洋環境保全推進月間の趣旨説明、油や廃棄物の不法投棄防止についての指導を実施しました。

**【海洋環境保全講習会】** 海事関係者を対象とする講習会で、海上環境関係法令の遵守を指導するとともに、当庁の取組み状況及び海洋汚染の現状等を受講者に周知し、人為的要因により発生する海洋汚染の根絶を図ることを目的としています。



### ○訪船指導（第二管区 石巻海上保安署）

石巻海上保安署管内に停泊中の貨物船を訪船し、油類取扱い作業時のバルブ操作ミスによる漏油事故防止、ビルジ（油性混合物）等の適正処理について指導を実施しました。

**【訪船指導】** 海上保安官が船船を訪問し、海上環境関係法令の遵守、船舶からの油や廃棄物の不法投棄防止を指導するもので、機械に精通した海上保安官が立会い、実際に操作手順や機械の運転状況の確認も行っています。



## ○訪問指導（第四管区 四日市海上保安部）

四日市海上保安部管内の漁業協同組合、マリナー等を訪問し、海上環境関係法令の遵守と油や廃棄物の不法投棄防止に関する指導を実施するとともに、「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」入賞作品を用いて作成した海洋環境保全啓発用ポスターを配布し、海洋環境保全思想の普及啓発を広く呼びかけました。

**【訪問指導】**海上保安官が海だけでなく、陸上にある事業所等を巡回、訪問し海事関係者に対して海洋環境保全指導・啓発活動を実施するものです。



## ○海洋環境保全教室（第八管区 敦賀海上保安部）

福井県敦賀市内の小学校において、海洋環境保全の重要性を学び海洋環境保全思想の普及啓発を図る「海洋環境保全教室」を実施しました。

**【海洋環境保全教室】**若年層を含む一般市民を対象に実施するもので、分かり易い海洋環境保全に関するお話や簡易水質分析具を使用した模擬検査等を行っています。



## ○海洋環境保全啓発活動【海洋子どもエコクラブ団結式】（第六管区 広島海上保安部）

広島港宇品客船ターミナルにおいて、子供達が海上保安協力員とともに海洋環境保全の重要性を学び、海洋環境保全啓発活動を行う「海洋子どもエコクラブ」団結式が行われ、児童代表が「きれいな海を守る大切さを学ぶことを誓います」と宣誓しました。

団結式に続き、子供達は街頭で海洋環境保全の重要性を訴える「海洋環境保全キャンペーン」を実施しました。



## ○漂着ごみ分類調査（第二管区 酒田海上保安部）

山形県酒田市内の小学生や地方公共団体等関係機関、海上保安協力員等と協力して「漂着ごみ分類調査」を実施しました。

※漂着ごみ分類調査の実施結果は、（一社）JEANを経由して米国環境NGO オーシャン・コンサーバンスーへ送付され、地球規模で海ごみ問題を解決するための基礎資料となっています。



## ○紙芝居による海洋環境保全啓発活動（第五管区 徳島海上保安部美波分室）

徳島県海部郡美波町の認定こども園において「海洋環境保全教室」を実施しました。

使用された紙芝居は、美波町の大浜海岸に上陸するウミガメのエピソードを基に、平成4年現役の海上保安官が作成した「うみがめマリンの大冒険」という作品です。

【紙芝居の上演】今では珍しく懐かしいものですが、分かり易い内容で、海上保安官の読み聞かせも人気があり、若年齢層に対する海洋環境保全啓発活動には欠かせないアイテムとなっています。



## ○環境パネル展示による海洋環境保全啓発活動（第十一管区 環境防災課）

沖縄県国頭郡の水族館において、海洋汚染の状況の写真や「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」入賞作品を用いて作成した海洋環境保全啓発用ポスター等を展示する「環境パネル展」を開催し、多くの来訪者の方に、海洋環境保全の重要性を発信しました。

【環境パネル展示】油や廃棄物による海洋汚染の状況の写真や漂着ごみの展示、海洋環境保全への取り組みを紹介するパネル等を多くの方が訪れる施設に展示し、広く海洋環境保全の重要性を発信する活動を実施しています。

